



2026 年 10 月 22 日

各 位

会 社 名 株式会社アクリート
代表者名 代表取締役社長 株本 幸二
(コード：4395、東証グロース)
問合せ先 取締役経営管理本部長 山本 敏晴
(TEL. 050-5369-3777)

再発防止策の策定及びリスク・コンプライアンス委員会設置に関するお知らせ

当社は、2026 年 9 月 28 日付公表の「特別調査委員会の調査報告書受領及び公表に関するお知らせ」にてお知らせしました調査報告書における提言内容を真摯に受け止め、経営体制および内部統制の抜本的な見直しを図るため、本日開催の取締役会において、以下のとおり再発防止策を策定するとともに、その実行を担う機関としてリスク・コンプライアンス委員会を設置することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 発生原因の概要

調査報告書において指摘された発生原因の概要は次のとおりです。

- (1) 新類型取引の会計処理に関する組織的検討の欠如
- (2) 取締役会の指摘事項のフォローアップ、契約書類・証憑管理、稟議・与信管理体制及び事業部門の実態把握に係る不備
- (3) 会計監査人との協議の不十分さ

2. 具体的な再発防止策

当社は、今回の原因を厳粛に受け止め、以下の施策を迅速に実行し、実効性のある内部統制を再構築いたします。

(1) 新類型取引に係る会計論点管理プロセスの構築

新類型又は一定金額以上の取引を開始する際に、収益認識その他の会計論点を特定し、経理部門による書面での検討（必要に応じて外部専門家の意見取得）と会計監査人との事前協議を経ることを、稟議の必須要件とする。また、履行を前提とする契約条項と業務実態との整合については、リスク・コンプライアンス委員会が契約審査の段階で確認する。

(2) 業務執行体制の整備

① 取締役会指摘事項のフォローアップの制度化

取締役会及び監査等委員会における指摘・質疑への対応状況を一覧化し、リスク・コンプライアンス委員会が以後の取締役会で報告することを義務づける。

② 契約管理・証憑管理の強化

下記(2)③で改定予定の稟議規程により定める一定金額以上の契約について法務審査を必須とし、目的物の特定・危険負担・担保等の必須条項をチェックリスト化する。物品取引については、引渡し時点における現物の特定（シリアル番号等）と記録を業務フローに組み込む。

あわせて、リスク・コンプライアンス委員会において、該当契約の報告を受け、確認状況を監督する。

③ 稟議・与信管理体制の刷新

事業の多角化に対応した稟議規程及び与信管理規程の改定を 2026 年 11 月末までに完了させ、新規事業の大規模取引に対応した審査基準を整備する。

④ 事業部門・管理部門の連携

新規取引について、事業、法務及び経理を横断して取引の全体像（商流、役務の実態及び会計処理）を把握する体制を備えたリスク・コンプライアンス委員会において、その内容を確認し、審議する。あわせて、内部監査室による新規事業・大規模取引を対象とする業務監査を強化し、体制を拡充のうえ、監査等委員会及び会計監査人との三様監査の連携の中で、事業部門に対するけん制機能を実効化する。

（3）会計監査人とのコミュニケーションの文書化

会計監査人との重要な協議については、協議事項、監査人の見解及び当社の対応を記録した文書を作成し、双方で確認する運用とする。口頭地了解をもって会計処理の根拠としない。当該文書は、監査等委員会及びリスク・コンプライアンス委員会にも共有する。

3. リスク・コンプライアンス委員会の概要

（1）設置の目的

当社におけるリスク管理及びコンプライアンスの状況の確認及び審議並びに有事の対応を目的として設置いたします。

（2）概要

① 構成

委員長は代表取締役又はその指名する者とし、委員は常勤取締役、監査等委員、部長、法務責任者及び外部専門家といたします。

② 役割

- ・リスク及びコンプライアンスに関する情報の収集、分析
- ・リスクの対応及びコンプライアンス遵守策の検討、決定、実施
- ・再発防止策の検討、決定、実施
- ・関係機関との連絡
- ・報道機関への対応
- ・その他リスク及びコンプライアンスに関する事項全般

③ 開催頻度

隔週で定期的に行うほか、必要に応じて臨時でも開催いたします。

4. 今後の見通し

本再発防止策につきましては、2026 年 11 月末までに体制の整備を完了し、順次運用を開始いたします。なお、本再発防止策の策定及びリスク・コンプライアンス委員会の設置が当社の 2026 年 12 月期の連結業績に与える影響は軽微と見込んでおります。今後、開示すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

このたびは、株主及び投資家の皆様をはじめ、関係者の皆様にご心配とご迷惑をおかけしておりますこと、心よりお詫び申し上げます。

以 上